
平成31年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成31年 2月28日

質問者（質問順）

- 1 竹内 康洋 委員（公明党）
- 2 大貫 憲夫 委員（共産党）
- 3 藤代 哲夫 委員（自民党）
- 4 大桑 正貴 委員（自民党）
- 5 石渡 由紀夫 委員（民権フ）

港 湾 局

局 別 審 査

1 竹内康洋委員（公明党）

1 31年度予算について

- (1) 31年度予算に対する所感を伺いたい。
- (2) 31年度予算における賑わい施策のポイントについて伺いたい。

2 横浜港の客船寄港促進の取組について

(1) 寄港促進の取組について

- ア 我が国港湾の客船寄港の動向について伺いたい。
- イ 横浜港の客船誘致体制について伺いたい。
- ウ 横浜港の客船誘致の取組について伺いたい。
- エ 客船の受入れに伴う課題について伺いたい。
- オ 円滑な受入体制の構築に向けた取組について伺いたい。

(2) 新港ふ頭客船ターミナルと周辺環境整備について

- ア 新港ふ頭客船ターミナルでの受入れ第一号となる客船は何か伺いたい。
- イ 新港ふ頭客船ターミナルにはどのような商業施設が入るのか伺いたい。
- ウ ホテルのクルーズ旅客向けサービスについて伺いたい。
- エ ハンマーヘッドパークはどのような緑地にするのか伺いたい。
- オ ハンマーヘッドパークには客船を見学できるような施設があるのか伺いたい。
- カ 客船ターミナルへのアクセス向上について伺いたい。

(意見) 今後、ラグビーワールドカップや東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、多くの来街者が訪れる。その方々に横浜の魅力を感じていただく絶好の機会なので、着実に整備を進めてもらうことを期待したい。

(3) 大黒ふ頭客船ターミナルの整備について

- ア ターミナルを整備したことによる効果について伺いたい。
- イ ターミナルの3棟をどのように利用するのか伺いたい。

ウ 客船寄港時におけるC I Qの体制について伺いたい。

エ 今後の大黒ふ頭における本格的な客船受入れに関する所感について伺いたい。

(4) 大さん橋国際客船ターミナルの取組について

ア 29年度の来場者数と30年度の見込みについて伺いたい。

イ 入場者の増加要因は何か伺いたい。

ウ 集客に向けた取組について伺いたい。

エ 今後の大さん橋国際客船ターミナルの機能強化策について伺いたい。

(5) クルーズ旅客を通じた市内経済活性化について

ア プロジェクトの設置の背景とその概要について伺いたい。

イ 具体的な取組内容について伺いたい。

ウ 「横浜観光ナビ」の進捗状況について伺いたい。

エ YOKOHAMAクルーズサポートチームの概要について伺いたい。

オ 他の港湾や周辺自治体との連携の取組について伺いたい。

カ クルーズポート横浜としての将来の目指す姿について伺いたい。

(要望) 今後、より多くの客船が横浜港を訪れ、さらにその寄港を市内経済の活性化につなげることを強く要望したい。

3 帆船日本丸大規模改修について

(1) 30年度に行っている主な改修内容について伺いたい。

(2) 今回行われた市民見学会はどのような状況であったのか伺いたい。

(3) 今後、どのようなイベントを予定しているか伺いたい。

(4) 31年度の大規模改修の予定と実施内容について伺いたい。

(5) 大規模改修終了後の新生帆船日本丸の活用策について伺いたい。

2 大貫憲夫委員（共産党）

1 港湾運営会社と横浜港の「国営化」について

- (1) 港湾運営会社制度の概要及び導入の目的、また、それにより権限や組織がどう変わっていくのか伺いたい。
 - (2) 港湾運営会社制度の導入により横浜市が対応する事業はどう変わるのか伺いたい。
 - (3) 平成 23 年の港湾法等改正時に附帯決議がつけられた理由について伺いたい。
 - (4) 附帯決議の内容について伺いたい。
 - (5) 横浜港の外貿は横浜川崎国際港湾株式会社が一元的主体となるのか伺いたい。
 - (6) コンテナターミナルにおける公共性及び港湾労働者の良好な労働環境の確保はどのように担保されるのか伺いたい。
 - (7) 株主として国が 50%の株を所有していることから、国の関与が大きくなるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
 - (8) 港湾運営会社が無くても、国が港湾管理者を補助・支援すれば、横浜市の仕事として港湾運営ができるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
 - (9) 戦後に港湾運営が国の直轄ではなくなった理由について伺いたい。
 - (10) なぜ国直轄の港湾がなくなったのか伺いたい。
 - (11) 本牧ふ頭及び南本牧ふ頭において横浜川崎国際港湾株式会社が管理する施設はどこか伺いたい。
 - (12) 港が国営化される懸念に対し、確実に対応できるシステムを構築するべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 戦前のように横浜港が国営化されることのないよう、港湾局としてしっかり対応してほしい。

2 国際コンテナ戦略港湾政策からの脱却について

- (1) 31 年度予算におけるコンテナ取扱機能強化の事業概要及び予算額について伺いたい。

- (2) 国際コンテナ戦略港湾のためにこれまで要したハード面での事業費及び今後の事業費について伺いたい。
- (3) 輸出入コンテナ貨物量及び取扱個数の地域別シェアにおけるトレンドは国際コンテナ戦略港湾政策によって変わるのか伺いたい。
- (4) 貨物量のトレンドが変わらないならば、ハード整備のための投資は無駄になるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 日本全体の貨物量が増えなければ横浜港全体の貨物量も増えないため、基幹航路のために多額の投資を行うのは税金の使途として間違っていると考えますが、見解を伺いたい。
- (意見) 基幹航路のためのハード整備に多額の投資を行うのは税金の使途として間違いであるということ指摘する。

3 藤代哲夫委員（自民党）

1 31年度予算について

- (1) 31年度予算の物流施策の基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 31年度の物流施策の主な取組について伺いたい。

2 横浜港の港勢について

- (1) コンテナ取扱個数の状況について伺いたい。
- (2) トランシップコンテナ取扱個数の状況について伺いたい。

3 横浜港における主要航路の状況について

- (1) 横浜港に就航している主要航路の特徴や優位性について伺いたい。
 - (2) 横浜港の主要航路の増加要因について伺いたい。
 - (3) 主要航路の開設がもたらす横浜港へのメリットについて伺いたい。
 - (4) さらなる拡大に向けた取組について伺いたい。
- (要望) 国際コンテナ戦略港湾政策は、国際基幹航路の維持・拡大により、企業の立地環境を向上させ、我が国経済の国際競争力を強化するといった政策目標を掲げている。横浜港は、市内経済の発展のみならず、国策としての大変重要な役割を担っているので、引き続きしっかりと取組を進めてほしい。

4 国際コンテナ戦略港湾施策について

- (1) 新本牧ふ頭の整備について
 - ア 新本牧ふ頭の事業化の経緯について伺いたい。
 - イ 新本牧ふ頭第1期地区整備事業の内容について伺いたい。
 - ウ JR東海からの要請に応えることの本市のメリットについて伺いたい。
 - エ 全体事業費と本市負担について伺いたい。
 - オ 新本牧ふ頭の整備による経済効果について伺いたい。
 - カ 今後の整備スケジュールについて伺いたい。

(2) 本牧ふ頭の再編整備について

- ア これまでの再編整備の内容について伺いたい。
- イ 今後、どのような再整備を行っていくのか伺いたい。
- ウ 船舶、貨物集中によるふ頭の一体化の効果について伺いたい。
- エ 道路混雑の課題への対応について伺いたい。
- オ B突堤の現状と機能移転の方向性について伺いたい。
- カ 今後の進め方について伺いたい。

(要望) 横浜港の主力ふ頭として物流機能を担っていくためにも、効果的な再編強化が求められる。関係者の協力を得つつ、一丸となって進めるようお願いしたい。

(3) LNGバンカリングについて

- ア 拠点形成の進捗状況について伺いたい。
- イ 国内外の動向について伺いたい。
- ウ 拠点形成に向けた本市の役割について伺いたい。
- エ 係留場所の選定の考え方について伺いたい。

(要望) この取組は、国際的な環境規制に貢献するだけでなく、結果として、横浜港に寄港する船舶の増加、基幹航路の拡大も期待できる取組である。関係者や国と十分に連携しながら、円滑に事業を進めてほしい。

5 ゴールデンウィーク期間中の大黒ふ頭における客船の受入について

- (1) ゴールデンウィークの客船受入れ予定の全体像について伺いたい。
- (2) どのようなイベントを行うか伺いたい。
- (3) 見学会ではどの程度の参加者を見込んでいるか伺いたい。
- (4) スカイウォーク以外で客船が見学できる場所について伺いたい。

(要望) 様々な工夫を凝らして市民の皆様が盛り上がる取組となるようお願いしたい。

6 ホテルシップについて

- (1) 課題への対応状況について伺いたい。

(2) 国のガイドラインの進捗状況について伺いたい。

(3) 事業実施に向けた意気込みについて伺いたい。

4 大 桑 正 貴 委員（自民党）

1 山下ふ頭再開発事業の現状と今後の見通しについて

- (1) 移転協議の進捗状況について伺いたい。
- (2) 31年度の移転協議の取組について伺いたい。
- (3) 再開発の今後の見通しについて伺いたい。

2 ロジスティクス拠点の形成について

- (1) ロジスティクス拠点を形成する意義について伺いたい。
- (2) 物流施設の集積方法について伺いたい。
- (3) 進捗状況について伺いたい。
- (4) 31年度の道路整備の概要について伺いたい。
- (要望) 国際コンテナ戦略港湾にふさわしいロジスティクス拠点を整備し、横浜港のコンテナ取扱量の増大につなげてほしい。

3 山下ふ頭の暫定利用について

- (1) 暫定利用の検討状況について伺いたい。
- (2) 動くガンダムの開催地が山下ふ頭に決まった経緯について伺いたい。
- (3) 動くガンダム事業の概要について伺いたい。
- (4) 動くガンダムの実施による効果について伺いたい。
- (5) 来街者の安全対策の考え方について伺いたい。
- (6) 操業中のエリアへの影響緩和策について伺いたい。
- (7) 適切な費用負担の考え方について伺いたい。
- (8) 今後の暫定利用の進め方について伺いたい。
- (意見) 30年代後半の全体供用に向け、まずはしっかり腰を据えて移転協議を進めながら、国際的なビッグイベントに合わせた暫定利用を加速させ、横浜に成長と活力を生み出す再開発に繋げていくことを期待したい。

4 国際交流について

(1) 30年度の研修生等の受入れ状況について伺いたい。

(2) タイ港湾庁とのこれまでの連携について伺いたい。

(3) タイ港湾庁との今後の取組について伺いたい。

(4) 31年度の取組について伺いたい。

(5) フォーラムの内容について伺いたい。

(意見) 国際港としての横浜を発信するとともに、今後も、世界各国と課題解決に向けた様々な取組を実現することを期待したい。

5 石 渡 由紀夫 委員（民権フ）

1 東日本港湾との連携について

- (1) 連携協定を結んでいる東日本各港とのコンテナ貨物量の状況について伺いたい。
 - (2) 東日本各港との連携状況について伺いたい。
 - (3) 連携による具体的な取組内容について伺いたい。
 - (4) 連携協定によるメリットについて伺いたい。
- (要望) 東日本各港の港湾管理者との連携を強化することは、お互いの港の取扱量を増加させることとあわせて、日本経済の発展にも寄与していくものと考えるので、引き続き、しっかりと進めていただくようお願いしたい。

2 完成自動車の取扱機能強化について

- (1) 完成自動車の取扱動向について伺いたい。
 - (2) 取扱機能強化に向けた取組状況について伺いたい。
 - (3) 自動車船が使用できる岸壁やヤードを増やすべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 自動車関連貨物は、横浜港の主要な輸出品目であり、その取扱機能を更に強化していく必要がある。経済への波及効果の面からも中心的な役割を担っている。引き続き重要な柱として取り組んでいくようお願いしたい。

3 LNGバンカリング拠点形成事業について

- (1) 提案の概要について伺いたい。
- (2) 提案からこれまでの経過について伺いたい。
- (3) 規制緩和された場合の期待される効果について伺いたい。

4 スカイウォークと賑わいづくりについて

- (1) スカイウォークの一部開放に向けた取組について伺いたい。

- (2) スカイウォークの一部開放はいつからなのか伺いたい。
- (3) スカイウォークはどのような時に開放するのか伺いたい。
- (4) スカイウォーク周辺の整備状況について伺いたい。
- (5) 大黒ふ頭の賑わいづくりに関する所感について伺いたい。
- (意見) 大黒ふ頭での賑わい創出に向けた検討も進めてほしい。

5 設置等許可について

- (1) 港湾緑地にどのような施設の設置ができるようになるのか伺いたい。
- (2) 設置等許可の手続きはどのように進めていくのか伺いたい。
- (3) 設置等許可を導入する港湾緑地について伺いたい。
- (4) 設置等許可の今後の進め方について伺いたい。
- (要望) 公募にあたっては、公平性を確保することが重要だと思うので、しっかりと徹底してほしい。あわせて、港湾緑地の立地特性をよく見極めたうえで、そこに相応しい施設の設置となるよう、慎重に進めてほしい。

6 ホテルシップについて

- (1) 2020年のホテルシップ実現に向けた施設整備の行程について伺いたい。
- (2) 岸壁改修の概要について伺いたい。
- (3) 下水道等の基盤整備の概要について伺いたい。
- (4) ホテルシップの今後の展開について伺いたい。
- (要望) ホテルシップは、メディアに取り上げられることが多く、大きな注目を集めるのは間違いない。施設整備等をしっかり行い、この機会に横浜港を世界に発信することをお願いしたい。

7 豊かな海づくりについて

- (1) 生物共生型護岸を新本牧ふ頭に整備する理由について伺いたい。
- (2) 生物共生型護岸の特徴について伺いたい。
- (3) 他港の整備状況について伺いたい。
- (4) 生物共生型護岸をどのように活用していくのか伺いたい。